

愛知大学人文社会学研究所 プロジェクト・研究会 公開報告会

日時

2017年2月25日(土)
13:00~17:30 (開場 12:30)

会場

愛知大学豊橋校舎
研究館1階 第1・第2会議室

- | | |
|-------|--|
| 13:00 | 開会のあいさつ
愛知大学人文社会学研究所長：伊東 利勝 |
| 13:15 | 報告① 「国際英語」教育に関する研究
「国際英語」教育の現状と課題 – 本学の例を検証する –
～英語による報告～
報告者：ダニエル デヴォリン (愛知大学文学部)
ローラ リー クサカ (愛知大学短期大学部)
サイモン サナダ (愛知大学文学部) |
| 14:00 | 報告② 南方における近代日本青年の足跡・研究
東亜同文書院『大旅行誌』の記述にみる香港・台湾・南方
報告者：塩山 正純 (愛知大学国際コミュニケーション学部) |
| 14:45 | 休憩 |
| 15:00 | 報告③ 行為としての教養 – 身体と新教養概念
行為としての教養 – その概要 –
報告者：下野 正俊 (愛知大学文学部) |
| 15:45 | 報告④ Confucian-Islamic Connection基礎研究
イスラームと儒家とのコネクションをめぐって
～スカイプにて報告～
報告者：鈴木 規夫 (愛知大学国際コミュニケーション学部・
ケンブリッジ大学コーパス・クリスティ・コレッジ客員フェロー) |
| 16:30 | 質疑応答 |
| 17:00 | 閉会のあいさつ |

■お問い合わせ先■

愛知大学人文社会学研究所

〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1

T E L : 0 5 3 2 - 4 7 - 4 1 6 7

E - Mail : irhsa@ml.aichi-u.ac.jp

U R L : http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/

申込不要
入場無料



豊橋鉄道渥美線「愛知大学前」下車

愛知大学 HP > 交通アクセス

※ご来場の方は公共交通機関をご利用ください。



「国際英語」教育に関する研究

Developing "Contemporary International English" Course at Aichi University

「国際英語」教育の現状と課題 – 本学の例を検証する –

We report on the development and issues facing the Contemporary International English course, focusing on students' reports on their motivations, attitudes, and sense of success with learning and using English. Data gathered through questionnaires and interviews suggest greater learner diversity than realized, indicating the need for continued monitoring.

～ Presentation in English ～ Reporters : Daniel Devolin
Laura Kusaka
Simon Sanada



南方における近代日本青年の足跡・研究

東亜同文書院『大旅行誌』の記述にみる香港・台湾・南方

近代日本における一つの重要な思潮である「南進論」の対象である台湾・華南・東南アジア等の地域における実際の日本人の動向については、これまで満州や華北地区における動向に比べて研究者の関心をひいてこなかったが、最近ようやく幾つかの研究成果が見られるようになってきている。報告では、本プロジェクトで中心資料として扱った東亜同文書院『大旅行誌』に記述された軌跡と彼らのまなざしから、実際の日本人（知識青年）の動向の一端を考察する。

報告者：塩山 正純



行為としての教養 – 身体と新教養概念

行為としての教養 – その概要 –

本研究プロジェクトは、「教養」を、非言語的な身体知を基軸として再定義する試みである。言い換えれば、変化する教養を、身体 = 非言語的知（技芸、身ごなし等）に即して辿りつつ、変化の諸相を明らかにしようとするものである。

報告者：下野 正俊



Confucian-Islamic Connection基礎研究

イスラームと儒家とのコネクションをめぐって

ヘレニズムの信仰であるイスラームは、ユダヤの教えやキリスト教と共通の神に拠っている。それは地域性や民族性などに拘束されないため世界中に広まっているが、遠く中国にも多くの信徒共同体が存在する。この報告では中国支配層の倫理システムである儒家の規範や行動とイスラームはどのように関わっているのか、その輪郭を探る。

～スカイプにて報告～

報告者：鈴木 規夫